

# 相談ネットワーク通信

2014. 7. 23(水)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク

## No.85

700-0822 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F

TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

# やるっきゃない!

新相談員

岩佐 仁志



（を開催）同じく協働事業モデル事業

（「しんじい先生」

支援プログラムを提案）

にも申し込みました。ほ

とんど独断で…そして、

相談ネットの強みである

「ベテラン教師経験者が

心から相談にあたります」

「まもなく25周年を迎え

ます」と大風呂敷を広げ

ました。どちらも採用さ

れてしまいました。

やるっきゃない！

波先生ますます意気軒昂

にがんばりましょう。新

しい仲間を迎えて相談ネッ

トの素晴らしさと底力を

世に広めましょう。皆さ

んに「手当」が少しでも

支給されるようになるの

が私の使命だと考えてい

ます。

いわさ ひとし

相談ネットワーク通信の読者のみなさんこんにちは。新しく相談員に加わりました元高校教師の岩佐です。「イラチの岩佐にまともな相談活動などできるわけないだろう」との声が聞こえてきます。自分でもそう思います。ではなぜ岩佐の再スタートが相談ネットワークなのか・・・先生と難波先生が「八木原先生と難波先生が活動を開始されました。この活動は岡山県の教育にとつて重要で意義あるものとして、高校現場からも多くの支援があります。しかし、ネットワーク

の人たちは宣伝がへたくす。そのために、今は、組織維持に必要な経費さえなかなかに工面できない状況が生まれています。加えて、設立当時ならともかく20数年もたつている今、いまだに「手弁当ボランティア」とは考えられない・・・（絶句）これが私の正直な感想でした。「こんなはずではない」私の第三の人生を託す以上どうにかせねば・・・岡山市人権推進課の補助金を申請しました。（難波先生と四人の方に講師をお願ひして市内四区で市民のための教育講演会



# 相談ネットワークの

## これまでとこれから

### 13年度の反省と14年度への課題

## これまで

13年7月～14年6月

#### 相談状況

別表のよう  
になってい

ます。人生相談が圧倒的に多くなっているのは、子ども不登校などの相談から親御さんの「生き方」などの相談に転化したものが多くあります。

深刻な経済格差と貧困の広がりの中で、いじめと問題行動が増えてきているのに、相談件数は増えていません。

#### 相談員の状況

退職教員で  
構成され、

80代から60代まで、小・中・高を網羅しています。新人が二人、「希望の星」となりました。(担当は別表の通り)。

#### 会報の発行

活動助成金  
(教育公務員  
弘済会)によ

り、発行回数を増やすことができました。(六回発行) 会員の  
方の投稿が増えています。

#### 講師活動

保育園・幼稚  
園・小学校・

P.T.A・市教委・市職労・母親  
連・コープなどに「出前講座」  
をしました。

#### 学習会

月一回の学習  
会は、まがり  
なりにも開い

てきました。

#### ホームページ

開設はしたも  
のあまり利  
用されていま

せん。「相談ネットワーク上  
之町ビル」で検索してくださ  
い。

#### 他団体との交流

おかやま教  
育文化セン

ターの「子育て・教育のつどい  
2014」の一翼を担って「い  
じめ・不登校」の分科会を担当  
しました。岡山県母親大会や  
「市民のつどい」で問題提起者  
やパネラーをつとめました。

#### 会費の入り

会費と賛助会  
費によって運

営しています。最初の頃の会員  
さんは20年以上支えてくださっ  
ていて頭の下がる思いです。経  
済状況の深刻さと子どもの成長  
のなかで、会員が減りました。  
また、会費納入をお忘れの方が  
います。

# これから

14年7月～15年6月

## 二〇一四年度 活動の方針と計画 (案)

### 相談活動

子どもたちも親御さんも、いっそう大変な状況になってきているのに相談件数が増えないのはどういふことか。期待に応えられていない状況をどう改善していくか。新しい企画を考えます。

### 相談員の状況

相談員の数は横ばいです。退職教員に呼びかけて、いっそう充実を図っていきます。医師・弁護士の方にも応援をお願いしたいと思っています。

### 会報の発行

発行回数は前年度を目標にします。さらに、紙面の充実にも努めます。会員の方の投稿がますます増えるように工夫します。

### 講師活動

引き続き、いろいろな団体への「出前講座」を行います。特に、岡山市人権啓発活動の一環として、市内四方所で「子育て・教育講演会」を企画して、積極的に取り組みます。

- 9/30 北ふれあいセンター
- 10/16 東山公民館
- 11/6 南ふれあいセンター
- 12/2 西大寺ふれあいセンター

さらに、学校現場で「疲れている先生・困っている先生」の積極的な援助ができるように、経験を生かしながら岡山市の市民協働推進事業（「しんどう先生」支援プロジェクト）に参加します。

### 学習会

よりよい相談活動や講演活動の充実のため、相談員の学習活動を充実します。

### ホームページ

ホームページを更にし、多くの方に見ていただけるようにします。「相談ネットワーク 上之町」で検索してください。そして、ぜひご利用ください。

### 他団体との交流

おかやま教育文化センターの「子育て・教育のつどい2015」の一翼を担っていきます。おかやまコープ、フリースペースあかね、母親連絡会などと、交流を深めながら連携していきます。

### 会員と会員

個人会費と賛助会費によって運営しています。「入るをはかっているを制す」努力をつづけたいです。そのためにも会員さんを増やす努力をつづけたいです。



# 相談状況

2013. 7. 1~2014. 6. 30

相談ネットワーク

2013年度	乳幼児	小学生	中学生	高校生	未成年	成人	面談	合計	%
不登校・登校拒否		6	2	1		3		12	5.8
問題行動		1	3	2				6	2.9
いじめ		1						1	0.5
しつけ・勉強		7	1	1				11	5.3
学校への不満		2	1				2	3	1.4
進路				2				2	0.9
保育問題	4				4			8	3.9
人生問題				2		109	42	153	74
情報提供	2	1				5		8	3.9
その他		1				2		3	1.4
計	6	19	7	8		119	44	207	

相談件数 207件 ( 電話相談163件 面談44件 )

譲ってください

不要になったワープロ (NEC・シャープ) をお持ちの方、ご連絡ください。やっぱりワープロじゃないと… なんぼ

## 相談担当

月 前田 石井 秋山  
 火 中野 衣笠 田中 加戸  
 水 石井 岩佐 石川  
 木 難波 加戸 正保 秋山  
 金 難波 石井 石川 田中 岩佐

相談時間 9:30~16:00

この時間以外でも相談に応じることは可能です  
 相談は、電話・面談どちらでもできます

## 会員・賛助会員のみなさんへ

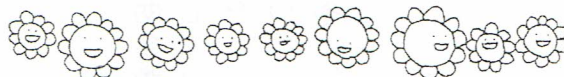
いつも相談ネットワークの活動を支えてくださってありがとうございます。

心からお礼申します。

会費納入がまだの方は同封の振替用紙でお願いします。

<すでに納入済みの方は、ゴメンナサイ>

個人会費 一口 2,000円以上  
 賛助会費 一口 5,000円以上  
 口座番号 01200-9-10898  
 加入者名 相談ネットワーク





## ネットワーク通信に

## 反響が続々

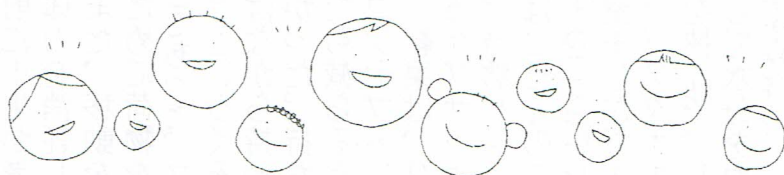
## 前略

青葉若葉の候となりました。事務局のみなさんご苦勞様です。ずっとごぶさたばかりですが、ますますでかけることが億劫になっています。

そんなとき、相談ネットワーク通信NO84に接し、とりわけ難波先生の「青春断想①」を拝読。なんとも妙に嬉しくなりました。それでつい筆を執ったというわけです。ホッとしたり共感したりで、とやかくの教訓・警戒じみたことよりなんともありがたいですね。「寄り添って待つ」がそのままあふれていらっしやいます。よくもまあ一人芝居を演じることがおできになりますね。難波先生の深さ・広さ・大きさをつくづく感じさせていただきました。お元気でいてください。みなさんも。

備前市

竹内良雄



さて、本日お手紙を差し上げますのは、相談ネットワーク通信NO84の青春断想①の感想を……と思ったからです。ほんとにホントに面白い！洒脱！の一言に尽きます！

大笑いしながら読めるモノはそうあるものではありません。しかし、これには笑いました。そして、味わい深く心に残る言葉がたくさん散りばめられていて、私はいたく感動したので。拝読しながら『難波先生、こりゃええですなあ。あいうえお、かきくけこに書いてあることあ傑作です。難波先生はチャイミングでほんまに一生青春の人ですなあ。また、大きな声で言われとります部分は本当にそうだと共感し、拍手をパチパチ送りようるんですが、聞てえとりますかなあ？』と文章の向こうに見える難波先生に話しかけておりました。この感想は何がなんでも伝えにゃあおえまあと、パソコンに向かってキーを叩き始めた次第です。それにしても、大笑いしながら独りごとを言っつてまで拍手までしたという、端から見れば「あんたもとうとう呆けてきたんかな」と言われかねない状況だったのでではないかと思えます。難波先生、これからもますますご健健で「恋心」も忘れず欲のツツパリの王道をお進みくださいませ。私も見習い、三步ほど下がってついて行きます。

欲のツツパリ組である私には難波先生と同じように、いい国にしたいね、いい世界にしたいね、子どもたちが幸せでいられる地球にしたいねという夢があります。そのためには自分自身がいい生き方をしなくて……と思えます。そんなこんなを改めて気づかせていただきました。青春断想①に感謝し、また先生のいっそうのご健勝をお祈りしております。

総社市

加百(かど) 智津子



# 無謀な世界一人旅 ②

## ～夢を追い続けて～

相談ネットワーク

正保 宏文

84号からのつぎ

旅に出る前に小生が考えたことは、体力を消耗しないために、また、移動をしやすくするために荷物を極力減らすことであった。スーツケースなどというくそ重いものは、はなから持っていく気はなかった。持ち物を一グラムでも減らそうということをコンセプトに準備を進めた。結果は、20リットル入るサブザック一つに決めた。当然、パンツや肌着・靴下は二日分のみ。毎日洗濯をすることにした。一人旅は部屋干しができるのが強みだ。バスタオルの間に洗濯物を挟んで、しっかり足踏みして水分を取り除き、後は干すだけ。

荷物が一つだけなら、常に身近に置いておけて、空港で荷物を預けたり受け取ったりしなくて済む。当然荷物の紛失もない。トイレに行くときも格段に行きやすい。荷物が少ないことに越

したことはないのだ。事前に行きたい場所や利用するホテルの位置も地図落としして、万全の準備を整えた。



### 期待と不安の中で

国内便はエコノミークラスであったが、成田からはANAのビジネスクラスだった。なので、ラウンジが利用できた。岡山空港に早く着き過ぎたのだが、搭乗手続きをすませ、ANAのラウンジで出発まで待つことにした。そこには、産経を除く五紙と何冊かの週刊誌が置いてあり、時間をもてあますようなことはなかった。飲み物もビール・ウイスキー・日本酒・コーヒー・ジュースなどが飲み放題でおまけ

にサンドウィッチまであった。ここで貧乏根性を発揮したら後々大変なことになると思い、酒類やサンドウィッチには手をつけなかった。

期待と不安を胸に飛行機は出発した。予定どおり羽田へ到着したものの、成田へ行ったことがない。案内表示をしつかり見ながら京成電鉄に乗り、成田をめざした。ここでもラウンジで出発までの時を過ごした。飛行機へ乗ってしまえば、もうこっちのものとはばかり、少し気が大きくなってしまった。これがいけなかった。ついついビールを二杯飲んでしまい、飛行機の中では、夕食に今まで食べたこともない分厚いステーキが出てきたため、赤ワインを何杯も飲んでしまつて、二日酔い……。豪華な朝食にもほとんど手を付けることができなかった。それだけならどうってことないのだけれども、朝、目が覚めると右足に違和感が有るではな



いか。右足が、猛烈に痛いのだ。これは大変なことになってしまったと思っただが、後の祭り。痛風の発作が、起こってしまったのだ。身から出たさびとはいえ、何でもこんな時にと思わずにはいられたなかった。

NYのJFK空港に着いてからが、大変だった。思うように歩けないのだ。痛いのがまんしながら、歯を食いしばって歩くことにした。公共の交通機関で安くNYの中心部へ行かなくてはと思い、AIR LINE LINEを必死で探した。ところがガイドブックにあったAIR LINEはなく、AIR TRAINの表示が目にとまった。LINEとTRAINではすこし表示が異なるが、「まっいいか」と思って、AIR TRAINをめぐらした。

ジャマイカで地下鉄に乗り換えということは、事前につかんでいたのでジャマイカ行きに乗ろうと切符の

自販機を探したが無し。仕方なく切符なしで電車に乗る。ジャマイカ駅に到着後、他の乗客は、すたこらさつさと、自動改札口を抜けていく。小生は、どうすることもできず、およよのよ。駅員らしき人に尋ねたが、理解できず、自販機みたいなのが一台あったので、何とかなるのかと挑んでみたが、どうにもならず。そして、先の駅員らしき男性がやってきて、売店で切符を買うように教えてくれた。感謝感謝。

今度は地下鉄の駅を探さなければならなかった。ところが、また切符の買い方が分からない。自販機ではなく、駅員の居る窓口で切符をゲット。ホテルの近くの駅まで行こうと思いきや、途中で乗り換えが必要とのこと。小生が乗り換えようとした駅は、上りと下りのホームが独立していたため、反対側のホームへ行けず、いったんホームの外に出て、

またまた切符を買うことに(とほほのは・・・)。

日本の地下鉄では、上りと下りが行き来できるが、NYでは、できないところもままある。結局ホテルに着いたのが、午後七時頃。痛風で足は痛いし、元気もないので、ホテルにそのまましげ込む。

初めてのNYなのに、感動も感激も全くなし。とにかく足が痛い。



ホテルの窓から見えるニューヨークのビル

しかし、明日は、メトロポリタン美術館を堪能したいと思う。

しようほ ひろふみ

(^-^:)



## 今の私を責めないで 未来の私を励まして

生まれ育ち 学びながら育つということ④  
のたうち回りながら反転した青年達

その2

高卒認定フジゼミ講師 志賀兼允

放任とは「放ち任せる」ことであつて、「放ち置く」放置ではない。安心・信頼の土壌が未来につながる希望に火をともし。そして一人一人の中に、自己肯定感が点火しはじめた時、人は「自分らしさ」に向かう。

新しい学年が始つてすぐ、二時間目の授業のさなか突然、教室のドアが開いた。クラスを引き継ぐとき「一番課題を持った生徒」と教えられた隆(仮名)であつた。みると、なんと「モヒカン、パッキン」でいきなり登場。クラス全員が一瞬固まったように思えた。私は、おもわず、

「わしゃあ、長いこと教師してきたが、お前みたいモヒカン・パッキンでいきなり教室入ってきた奴を見たのは初めてじゃあーちよつと待つとこれよーいい記念になるけえ、みんな写真撮つたろけえ」と言つて、急いで職員室へ戻り、教頭先生からカメラを借りて教室に戻つた。そして、

「それじゃあ、一班からじゃ、隆、イスもつて座れ。」隆は、想定外の事態に戸惑っているかのようであつたが、言われるままに一班の仲間のところへイスを置いて写真を撮つた。そして、学級の六つの班すべてを移動しながら、写真を撮つていった。思わぬ事態の展開に固まっていた学級は次第に緩みはじめ、ついには小学校からの幼友達などが、

「たか(隆)！おみゃあ、その髪形あつとらんよ。」  
「たか君、いつもの格好のほうが男らしいよ。」  
などなど、ゆるみはじめた春の日差しのように、教室の空気は一気に溶け始めた。

隆は、身長180cm、クラスで飛びぬけて背が高かつた。私は、ことあるごとに、

「たかーちよつと手伝つてくれえ！」  
「なんで、ワシなん？」

「だって、おみゃあ、このクラスで一番背が高いじゃないか。おみゃあしかおらんけえじゃ！」

と言つて、教室の掲示物を貼るときに助けを求めた。

「めんどくせえのお。」  
と言いつつながら、手を貸してくれた。

そんな風景を見ながら、いつしか、クラスの仲間も、高いところに手が届かない時は、みんな

「たか！手伝つてえやあ。」  
と声をかけてくれた。

「おまえにしかできない」「あんたを当てにしているけえ」人はいつもそんな関係の光の中に置かれた時、居場所を見つけてくる。居場所とは、単なる場所の提供ではなく、人間的関係の光が注がれる場所である。

今、公教育の「生徒指導規定」は「指導に従わないなどの指導無視及び暴言等、学校教育上指導を要すると判断した行為」に「自らの



行為を振り返り、過ちを認め、同じことを繰り返させないように自戒し、「反省し、今後の展望や目標を持たせる場」として教室から排斥し「別室指導」という名の「隔離」教育を実行している。「みんなとは、一人残らず」という意味であり「一人の人間を犠牲にした幸福が本当の幸福でない」ように教師にとって目障りな生徒を「別室指導」という名で排除し隔離する教育はもはや学校とは言えない。

高卒認定を得るためにやってくる青年たちの多くは、学校の、教室の、あるいは家庭の時空の中で、自分らしさを抑圧され、戸惑い、うろたえながら、あるものは自らの心を閉じ込め、殻の中に追いやって人間的不信感を募らせ関係の光を閉ざしてきた。また或るものは、抑圧に抗い、自暴自棄になり、本当の自分ではないと思いつつも、あらゆる身の回りのもっともらしい

価値や権威に刃向っていく。

そんな「自分らしさを埋没」させていた彼らが、反転するきっかけは様々だが、共通していることは「今の自分はこのままじゃいけない」と内省を巡らせながら、「ほんとうの自分らしさ」を希求し始めた時である。そして内省に至る土壌は「不信、不安、絶望」から「信頼、安心、希望」が芽吹くときである。「人は一人では荒れない」ように、信頼、安心、希望は一人では生まれにくい。やはり、人間的関係の光の中で生まれるのである。教室は、そんな光をいっぱい放つところであり、まさに人間社会の原風景でもある。だから、今一度伝えたい。大人にとって、教師にとって都合の悪い子どもを「別室指導」という名のもとに隔離する時空間からは、ほんとう学びあう育ちは生まれてこない。

(しが かねみつ)

ひ ま わ り

の丸の旗を  
銃剣にむすび  
南京の城壁に立った  
日本の兵士たち  
そのなかに 友の父がいた  
さに英雄として  
彼らにつづけとばかり・・・  
その父は戦死した

かもの多くが  
傷つき死んでいった前の戦争  
かつて日本の文部大臣が  
マレーシアの首相に握手を求めたら  
「あなたの手は血で汚れている」と拒否された

ゆうは いうまでもない  
今 あらためて  
戦争をしない 軍隊をもたない  
そして  
「殺し殺される国」にしない  
ことを誓う





# 総会&講演会のご案内

とき 8月23日(土) 12:00~16:00

ところ 岡山市立中央公民館 視聴覚室

※市内電車「東山」行 小橋駅下車 徒歩5分

入場無料(資料代200円)

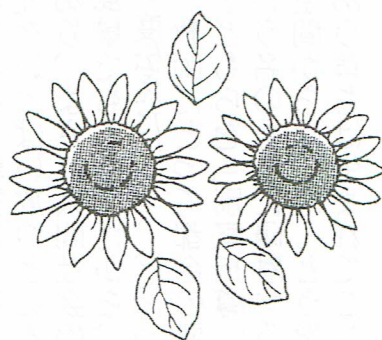
## 日程

12:00~ 受付

12:10~ ギター演奏と歌(佐藤 匡さん)

12:40~ 総会

13:30~ 講演会「今の私を責めないで 未来の私を励まして」



元中学校教師 高卒認定フジセミ

志賀 兼允さん

相談ネットワーク通信に好評連載中のあの志賀先生がやってくる！ 子どもたちを愛してやまない熱い熱い先生の実践から、今、私たちに何ができるのかを、いっしょに考えましょう。  
多数のご参加をお待ちしています



16:00 閉会

主催 子育て・教育なんでも相談ネットワーク

Tel・Fax 086-226-0110(代)

メール soudan-net@vivid.ocn.ne.jp